

障害福祉サービス 集団指導

共同生活援助事業者向け 地域連携推進会議関係 別冊資料

令和7年3月17日(月)

障害福祉課 障害福祉G 指定担当

地域連携推進会議の目的・内容・効果

- ・ 事業所と地域との連携による4つの項目を目的に、事業所が設置する外部の目を入れた会議体。
- ・ 会議の開催による構成員との情報共有・意見交換と、構成員の施設訪問による職員や利用者との関係づくり、事業所の環境や事業運営の確認を行う。
- ・ 利用者にとっては、より質の高い支援が受けられる効果がある。また、地域との連携を深めることで、事業所にとっても、地域での運営がしやすくなる効果がある。

目的

事業所と地域との連携により・・・

利用者と地域と
の関係づくり

地域の人への
施設等や利用
者に関する理
解の促進

サービスの透明
性・質の確保

利用者の
権利擁護

内容

● 会議の開催

- ・ 構成員と情報共有・意見交換

● 構成員の施設訪問

- ・ 職員や利用者との関係づくり
- ・ 事業所の環境や事業運営の確認

※ 会議・施設訪問は、それぞれおおむね1年に1回以上開催する

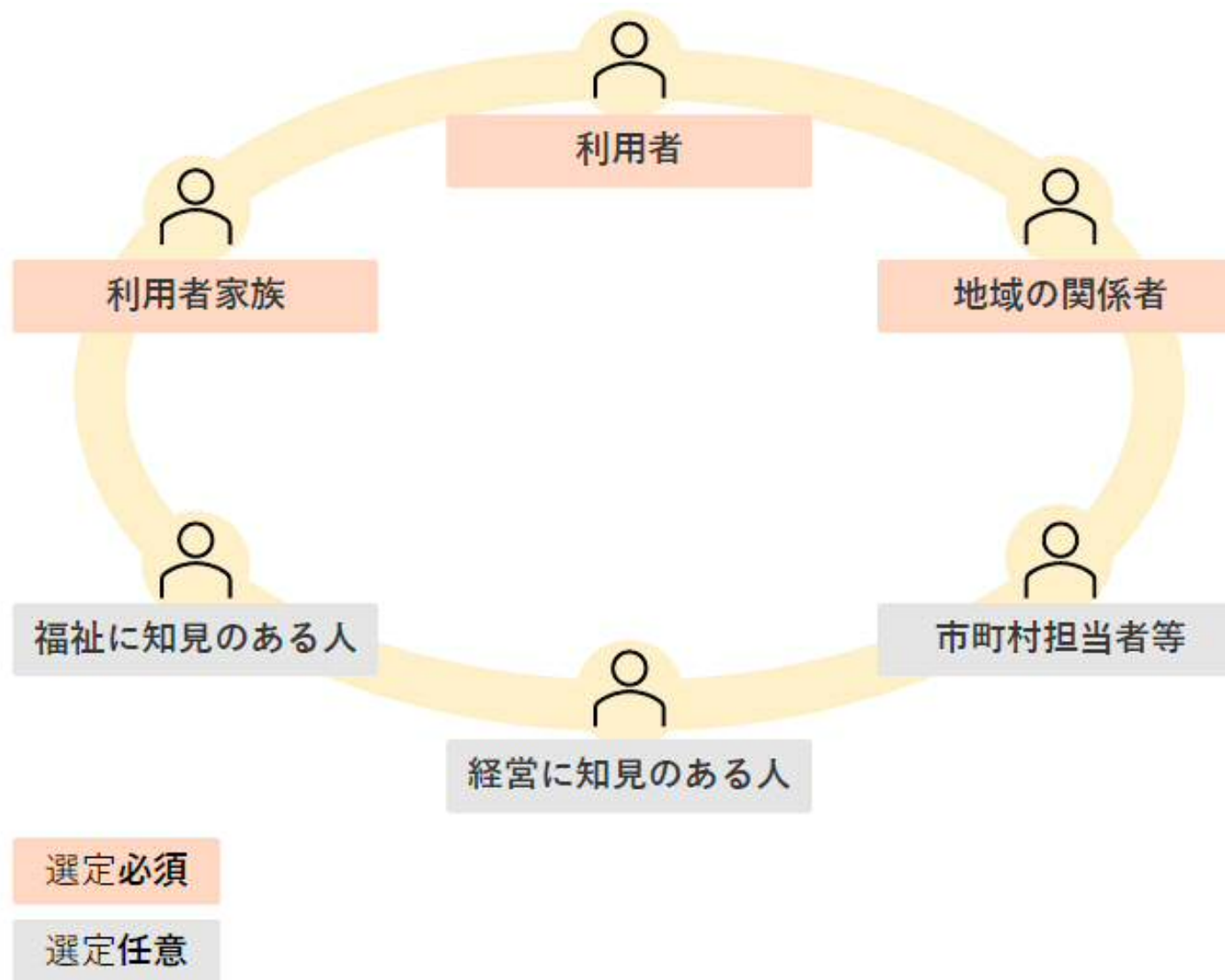
効果

● 利用者:質の高い支援が受けられる

● 事業所:地域で運営がしやすくなる

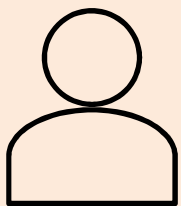
会議の構成員

- ・ 会議の構成員は、「利用者」「利用者家族」「福祉に知見のある人」「経営に知見のある人」「市町村担当者」などを想定。このうち、「利用者」「利用者家族」「地域の関係者」は必ず選出することが必要。
- ・ 人数は5人程度。



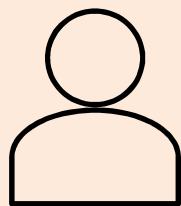
会議の構成員

利用者家族



利用者家族は、参加する利用者とは別の利用者家族であることが望ましいです。

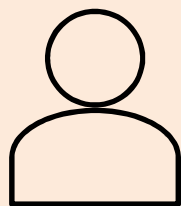
地域の関係者



地域の関係者の例

自治会・町内会などの地域団体の方、民生委員、商店街の方、学校関係者などが想定されます。

市町村担当者等



市町村担当者等については、市が委託した職員が参画をいたします。
参画のご依頼については、委託先の事業所へ直接ご依頼ください。

会議の開催

- ・ 会議の目的を達成するため、目的に沿った課題を設定する。
- ・ 事業所側からの一方的な報告だけでなく、構成員と双方向で意見交換できる課題を設定することが望ましい。
- ・ 会議は事業所ごとに実施していただきますが、同一法人が運営する事業所である場合は、同日に同会場で連続して実施していただいても結構です。その際は、開催時間および構成員を事業所ごとに変更して実施してください。

会議の議題例

1

施設等やサービスの透明性・質の確保

- ・ 利用者の日常生活の様子について
- ・ 経営状況の報告
- ・ BCP(業務継続計画)の策定状況について

2

施設等と地域との連携

- ・ 障害についてのレクチャー
- ・ 近隣からの苦情等の共有
- ・ 地域行事のご案内

3

利用者の権利擁護

- ・ 虐待、事故、ヒヤリハットの報告
- ・ 支援者の様子
- ・ 利用者の意向アンケート結果

施設訪問の実施

- ・ 職員・利用者との関係づくり、事業所の環境や事業運営の確認を目的に、構成員による施設訪問を行う。
- ・ 施設見学や職員・利用者とのコミュニケーションを通じて、施設の環境、利用者・職員の様子などを確認する。
- ・ 共同生活住居ごとに年1回以上、実施することが必要です。

訪問の目的

- ・ 利用者や職員との関係づくり
- ・ 事業所の環境や事業運営の確認



訪問の目的

- ・ 施設の環境
- ・ 利用者・職員の様子

